

特色あるキクの生産調整と新規生産者の確保による産地復活

要約

葛城市で「特色あるキク」を生産・出荷しているJAならけん葛城花卉出荷組合を対象に、生産者の所得向上を図るため、その計画生産と販売体制の強化に取り組んだ。また、生産者の高齢化と後継者不足が問題となっているため、新たなキク生産者の確保・育成に取り組んだ。

- ・「特色あるキク」のうち、マイクロマムの出荷量は増加した。
- ・新たな担い手を確保するためのセミナーを関係機関と連携して開催し、6名が受講した。
- ・次年度以降も新規生産者確保のためのセミナーを継続して開催することについて、産地と関係機関で合意を得た。

現状(背景)と課題

- ・葛城市では、二輪ギク・ミスギク等の特色あるキクを生産（生産者数は12名、栽培面積は約5.4ha）
- ・省力的な小ギクが生産量が増加し、二輪ギク・ミスギクが生産量が減少
- ・生産者の高齢化と後継者不足により、葛城市のキク産地の維持が困難
- ・産地維持のため「特色あるキク」の出荷を確保し、各品種の生産割合の検討と新たな担い手の確保と育成が必要

目標

特色あるキクの出荷量

- ・二輪ギク 5.3万本（11.0%）
- ・ミスギク 4.1万本（8.5%）
- ・マイクロマム 11.5万本（23.9%）

新たな担い手確保

- ・県全体研修の参加者 10名

活動内容

- ① 特色あるキクの計画生産と販売体制の強化
 - ・生産効率や市況から、所得向上に最適な各品種の生産割合を産地に提案
 - ・高度な栽培技術を要する二輪ギクの生産者を確保するため、熟練農家の栽培技術等を記録
- ② 新たな担い手の確保のための受入れ体制の整備
 - ・新規栽培希望者を対象とした「キク産地づくりセミナー」を、JAならけん葛城花卉出荷組合、JAならけん及び葛城市の関係機関と連携して開催

成果

- ① 特色あるキクの計画生産・販売体制の強化
 - ・マイクロマムは17.6万本と目標を達成した（達成率100%）。
 - ・二輪ギク栽培のポイントとなる作業を熟練農家の協力を得てビデオ撮影にて記録した。
- ② 新たな担い手の確保のための受入れ体制の整備
 - ・6名がセミナーを受講し、講義内容については好評であった（達成率60%）。
 - ・次年度開催予定の研修事業に参加者のうち3名が受講を希望している。



二輪ギクの摘らい手法の記録



セミナーの実習の様子

普及活動のポイント

- 生産に要する労働時間や市況等のデータを用いて、所得向上に最適な生産割合を提案した。
- 特色あるキクの生産・販売体制の強化に向けた検討会を開催した。
- 新規栽培希望者を確保するためのセミナーでは関係者の役割分担を明確にして開催した。
- 新規栽培希望者をフォローするための産地の受け入れ体制を整備した。

対象の変化

- 生産量が減少している二輪ギクとミスギクの生産を継続していくことを確認
- 新規キク栽培希望者の受け入れに組合全体が協力
- セミナーを継続して開催し、新規キク栽培希望者の受け入れる体制ができた

対象者からのコメント

- 特色あるキクの生産の方向性について、今後も協議を進めていきたい（組合役員）
- 新規栽培者の確保は難しい課題であるが、諦めずに取り組んでいきたい（同上）

これからの活動ビジョン

- 特色あるキクの生産の方向性に関する産地内の合意形成
- 新規栽培者を受け入れるためのセミナーの継続開催

活動体制

